

令和5年(2023年)版

Yomo Yomo

～10代のあなたに～

図書館へ行こう!

『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』

福井県立図書館／編著 講談社 2021年発行

「トコトコ公太郎」「からすのどろぼうやさん」。さて、何の本かわかりますか？ 正解は、『とっとこハム太郎』と『どろぼうがっこう』です。この本は利用者のタイトル覚え違いを図書館の司書が集めたものです。連想ゲームのような質問と、正解に至る司書のコメントがクスリと笑えます。巻末では司書の仕事に触れており、図書館がもっと身近に感じられます。



『ライブラリー・ツインズ ようこそ、月島大学図書館へ』

ひのゆうき 白野祐希／著 あけたらしろめ／絵 アリス館 2021年発行



双子の菜織と健史は、月島大学附属中学校に通う3年生。内部進学が難しい菜織は、内申点を上げるため、大学図書館でボランティア活動することになり、健史も駆り出されることに。2人は、貴重な資料である世界三大美書と一緒にどんな本を紹介するか、企画展示を考えることになる。大学図書館の仕事や人々との出会い、図書館の魅力満載の一冊。

『希望の図書館』

リサ・ライン・ランサム／作 まつらな おみ 松浦直美／訳 ポプラ社

2019年発行

1946年のアメリカ。南部のアラバマから、北部のシカゴに引っ越してきたラングストンは、学校になじめないでいた。ある日、道に迷ったラングストンは、町の図書館を見つけて入ってみる。そこには今まで知らなかった本との出会いがあった。家族やクラスメイトとの関係に悩みながらも、本とともに成長していく少年の物語。



『じりじりの移動図書館』

ひろしまれいこ 廣嶋玲子 まはら三桃 濱野京子 はまのきょうこ 濱野京子 工藤純子 工藤純子 すがのゆきむし 菅野雪虫／著
講談社 2020年発行



じりじりじり！ 目覚まし時計のような音は、移動図書館「ミネルヴァ号」が来た合図。たくさん本をバスにつめこんで、いつでもどこでも本を求める人のところに現れます。そして、忘れられ、失われそうな本や物語を救うため、ときには時空をこえて、別世界へと旅をします。児童文学作家5人による移動図書館を舞台にした短編集です。

『戦場の秘密図書館 シリアに残された希望』

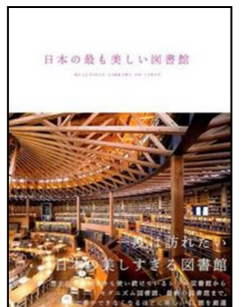
マイク・トムソン／著 おくにあやこ 小国綾子／編訳 文溪堂 2019年発行



シリア内戦下、食料も物資もない絶望的な状況の中、ダラヤの街の人がつくったのは図書館だった。爆撃される危険をかえりみず、人々は本を読むために図書館にやって来る。そこは人々の未来への希望がつまった空間だった。図書館創設メンバーは言う「本は雨のようにすべての人に降りそそぐ」と。自由な社会を求めた若者たちのノンフィクション。

『日本の最も美しい図書館』

たてのいかすえ 立野井一恵／文 エクスナレッジ 2015年発行



ページを開くとレトロ風やモダン風、歴史的な建築物の再利用、個性的なデザインが施された現代建築など、日本各地の素敵な図書館が写真で紹介されています。本を読んでいると目を上げたら、そのまま周りを見入ってしまうような美しい図書館。見どころや場所、行き方も載っています。

あなたはどの図書館へ行ってみたいですか？

編集・発行：箕面市立図書館 箕面市立小・中学校図書館

問い合わせ先：箕面市立中央図書館

TEL 072-722-4580 FAX 072-724-9697

発行日：令和4年(2022年)12月

箕面市電子図書館を知っていますか？

パソコンやスマートフォンで、本を読んだり聴いたりすることができます。

市立図書館の貸出券とパスワードの登録があれば誰でも利用できます。

『天と地の方程式』や『本好きの下剋上』もあります。

一度、使ってみてくださいね。



箕面市立図書館
ホームページ

司書のおすすめ！！

ベストセクション

どの本を読んでも面白いよ♪

『いつでも君のそばにいる』

葉っぱ切り絵コレクション 小さなちいさな優しい世界』

あつと
リト@葉っぱ切り絵/著 講談社 2021年発行

ページをめくると、そこは葉っぱに表現された小さな世界。空にかざされた一枚の葉っぱにはそれぞれに物語があります。生き物たちの話し声や笑い声、奏でられる音楽が今にも聞こえてくるよう。胸の奥が温くなる、お気に入りの一枚が見つかるはず。作品はSNSに投稿され、海を越えて注目されています。



『#マイネーム』

ハッシュタグ
くろかわゆうこ
黒川裕子/作 さ・え・ら書房 2021年発行

両親の離婚で名字が変わったばかりの明音^{みおん}は、学校で始まった名字に「さん」をつけて呼ぶ運動に反感を抱く。そんなときSNSで「自分の名前がきれいなやつ集まれ」という地元中学生限定のトークルームを見つける。メンバーたちは、学校で、自分が呼ばれたい名前の名札をつけ始める。名前とは何か？ 自由とは何か？ を問いかける物語。

『野原できみとピクニック』

はまのきょうこ
濱野京子/著 偕成社 2021年発行

裕福な家庭に育ち私立高校に通う優弥^{ゆうや}と、家計を助けるためにアルバイトをしながら公立高校に通う稀星^{きらら}。不良に絡まれていたところを稀星に助けもらった優弥は、再会した時に彼女ヘラインのIDを渡す。生活環境の違いという壁を越えて始まり、お互いを理解することで少しずつ育まれていく恋を描いた物語。



『博物館の少女 怪異研究事始め』

とみやすようこ
富安陽子/著 偕成社 2021年発行

時は明治。大阪の道具屋の娘、花岡イカル^{はなおか}は父母を亡くし、東京へやってきた。文明開化にごったがえす東京の一角に建つ博物館は、イカルにとって見たこともない珍しい品々が並ぶ別世界。ひょんなことから博物館で働くことになったイカルは、盗まれた黒手匣^{くろてばこ}の謎を追ううちに、不思議な事件に巻き込まれていく。

『解きたくなる数学』

さとうまさひこ おおしまりょう ひろせじゅんや
佐藤雅彦 大島遼 廣瀬隼也/著 岩波書店 2021年発行

「数学」と聞いて、思わずしかめっ面になった、そのキミ！ そういう人にこそ読んでほしいのが、数学のおもしろさや不思議を実感できるこの本です。写真を見ればどういう問題かすぐにわかり、次の瞬間には考えることに熱中しているはず。まずは頭を柔らかくして、パズルを解くように数学を楽しんでみましょう。



『「オードリー・タン」の誕生』

だれも取り残さない台湾の天才IT相』

いしざきひろし
石崎洋司/著 講談社 2022年発行

新型コロナウイルス感染者発生^{おちい}のニュースから、日本中が「マスク・パニック」に陥りました。マスク不足に陥ったのは、台湾も同じでした。それを避けるため情報をオープンにしたのが、38歳のデジタル担当政務委員、オードリー・タン^{タンフォン}（唐鳳）。生まれながらの心臓病、IQ180のギフテッドであるための困難。これはオードリーの伝記物語です。

『火星のライオン』

ジェニファー・L.ホルム/作 もりうちすみこ/訳

ほるぷ出版 2022年発行

11歳のベルは、アメリカの移住計画によって生まれてすぐ火星に移住した。大人に守られた穏やかな生活だ。ある時、大人たちが謎の病気にかかる。ベルたちは助けを求めて、はじめて他国の入植地へ向かう。途中で電力が切れ、列車が動かなくなってもベルはひとりで歩き続けた。ようやくたどり着いたドアを開けるとそこは目を見張る世界だった。

